

一編集後記一

今号は、土壤汚染に関するシンポジウムの特集号でした。一汚し散らかし、そして掃除する一我が家で毎日果てしなく繰り返される汚染者である子供と浄化事業者である妻との格闘です。(ちなみに私も時々散らかします。) 散らかしたものを自分でちゃんと片付けさせるのは、しつけの基本でしょう。しかし、残念ながら世の中では散らかしっぱなしというケースが多いようです。散らかしっぱなしではすまないぞ、という当たり前のことがようやく土壤汚染対策として本格的に取り組みられるようになってきたということになるのでしょうか。もともと浄化機能を持っているとされる土壤が、許容できないくらいに汚染される - 温厚な性格の人を怒らせたようなもので、何とも恐ろしい事態と言わざるを得ません。土壤汚染対策が、技術的な問題やその費用負担の問題を越え、真剣に取り組まれるようになってきたことは、評価

されるべきことです。しかしその反面、事態の深刻さを物語っているとも言えます。一度ばらまいてしまったものをかき集めて処理する、という気の遠くなるような作業ですが、既に具体的な技術の開発が進んでいるということに頼もしさを感じます。土壤物理分野のこれまでの研究蓄積が、土壤汚染対策に有用であるということは、誰もが認めるところでしょう。しかし、今後どのような研究が、土壤汚染対策というアウトプットを意識したときに重要であるかは、必ずしも自明ではありません。土を少しでも良くしたいという思いは、土壤の研究者共通のインセンティブだと思います。今回のシンポジウムが、今後どのような研究を生み出すのか、数年後が楽しみです。

<編集委員 吉田修一郎

(農業技術研究機構 中央農業総合研究センター)>

土壤物理学会

事務局構成	会 長	宮崎 毅 (東京大学大学院農学生命科学研究科)
	副 会 長	岡崎 正規 (東京農工大学大学院)
	庶務幹事	溝口 勝 (東京大学大学院農学生命科学研究科)
	会計幹事	井本 博美 (東京大学大学院農学生命科学研究科)
	編集幹事	関 勝寿 (東京大学大学院農学生命科学研究科)
	会計監査	加藤 誠 (東京農工大学農学部)
	”	金子 文宜 (千葉県農業試験場)
編集委員会	委 員 長	粕淵 辰昭 (山形大学農学部)
	委 員	古賀 潔 (岩手大学農学部)
		藤井 克己 (岩手大学農学部)
		佐藤 照男 (秋田県立大学短期大学部)
		粟生田忠雄 (新潟大学農学部)
		足立一日出 (独立行政法人農業技術研究機構)
		吉田修一郎 (独立行政法人農業技術研究機構)
		安中 武幸 (山形大学農学部)
		花山 奨 (山形大学農学部)
	南條 正己 (東北大学農学部)	

土壤の物理性 第90号 (会員配布) 2002年3月15日発行

発行 土壤物理学会

〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1

東京大学大学院 農学生命科学研究科

生物・環境工学専攻 環境地水学研究室内

電 話 03-5841-5351, 5374 FAX 03-5841-8171

E-mail : sp-staff@soil.en.a.u-tokyo.ac.jp

URL : <http://soil.en.a.u-tokyo.ac.jp/jssp/>

銀行口座 第一勧業銀行 本郷支店

普通 2407673 土壤物理学会 代表 宮崎 毅

印 刷 創文印刷工業株式会社

〒116-0011 東京都荒川区西尾久 7-12-16